

平成 29 年度（2017）アサンプション国際小学校 学校評価報告書

1. めざす学校像

教育目標 : 「心身ともに、すこやかで愛に生きる子  
～進んで学ぶ子、強く生きる子、神と人を愛する子～」

1. 進んで学ぶ子
  - (1) 基礎的基本的学力を身につける
  - (2) 自分で考え判断する
  - (3) 自分の考えを表現し、分かち合う
2. 強く生きる子
  - (1) 基本的生活習慣を身につける
  - (2) 強い心と体をつくる
  - (3) 責任を持ち、自主的に行動する
3. 神と人を愛する子
  - (1) 自分の良さや人の良さを認める
  - (2) 思いやりを持ち、友だちを大切に
  - (3) 感謝の気持ちをもって喜んで働く
  - (4) 自然を大切にする

2. 2017 事業計画

**2017 年度テーマ：「分かち合い」**

〈教育改革を新1年生だけのこととせず、各学年で「改革の成果を分かち合う」〉  
〈各教員、学院の各園校と保護者がそれぞれの役割・課題を分かち合う〉  
〈「国際平和に貢献する人」を目指してカトリックの「分かち合い」思想を徹底〉

1. **教育内容の充実**・・・教育改革、男女共学、校名変更の浸透
  - ①イマージョン教育の体制作り
  - ②アクティブラーニングの向上深化
  - ③ICT 授業の全学年取り込み強化
2. **改革と伝統のバランス**・・・伝統を守りつつ改革を成功させる
  - ①カトリック教育の伝統重視
  - ②アサンプション教育の強化
  - ③マナーの向上
3. **2018 年度入試の継続的活性化**・・・目標 70 名以上（ベスト 80 名）
  - ①広報活動の全校レベル化
  - ②入学試験のあり方見直し
  - ③入学試験スケジュール円滑化
4. **内部進学率の大幅向上**・・・中学進学目標 60%以上
  - ①中学校教員との連携強化
  - ②内部進学準備の繰り上げ
  - ③中高との交流活動行事活性化
5. **各園校・教職員間の連携強化**・・・情報共有化と職場改善
  - ①情報共有化と相互理解
  - ②職場環境改善と労働条件向上
6. **今年度の施設・設備上の課題**
  - ①実施事項→男子トイレの設置（2・3 階）、図書室の充実（日・英）・放送機器
  - ②検討事項→運動場の土壌改善・給食制度のあり方

【自己評価アンケートの結果と分析】(2018年1月実施)

保護者アンケート (2年前との比較を中心に)
<p>&lt;集計結果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「建学の精神を伝える努力」は評価されており、肯定が90%台と不変（「強く思う」が大増強）</li> <li>2. 「楽しく登校？」も95%台と高位で不変（これも「強く」が増加している）</li> <li>3. 「授業の落ち着き」「こどもの成長」は共に80%台で不変（これも「強く」が増えている）</li> <li>4. 「学力向上への教科指導」は「強く思う」が倍増しているが30%台、否定派も20%近くある。</li> <li>5. 一番関心のある「新しい教育への努力」は「強く」が増え40%弱、否定も10%台あり。</li> <li>6. 「子供たちの声に耳を？」は「強く」が増加しているが、否定も20%弱あり。</li> <li>7. 「健康管理、安全管理」では「強く」が増加し53%、肯定の合計も90%と高位安定。</li> <li>8. 「ブログ等学校の情報発信」は「強く」が継続増加で67%と高位、合計も90%超と高い評価。</li> <li>9. 「学院併設校との連携」は「強く」14%と低位、合計でも肯定派は減少傾向で60%弱。特に中高が低い。</li> </ol> <p>&lt;個別の意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年生保護者は「教育改革」で入学しており、共学のクラス編成や運営方法に意見多し。</li> <li>2. 初めてのコース分けを実施しており、英語への期待感も高く評価はまちまち。成績表のあり方にも関心大。</li> <li>3. 2, 3年生は1~2年の学校生活を体験しているので、後学年の「教育改革」との比較をしたがる傾向。</li> <li>4. 4~6年生になると、教育改革への不満？や新保護者層への批判も出てくる。改革不要論まで出る。</li> <li>5. 中学進学への関心も当然高く、学院全体の方向感、中学との連携への不満（情報不足）も多い。</li> </ol>
教員アンケート
<p>&lt;集計結果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「建学の精神の教員・児童への浸透度」は「よく」は少ないが肯定68%、否定はなし。</li> <li>2. 「基礎学力定着努力」や「公平な指導、人権尊重」は肯定90%前後で高く、否定はゼロ。</li> <li>3. 「児童の生活環境把握」「健康安全配慮」は当然ながら肯定90%前後と高く、否定もゼロ。</li> <li>4. 教育改革の目玉である「英語教育、iPad、特色ある教育」は肯定70~80%なるも「どちらとも」があり意外。</li> <li>5. 「教員間の連携、協力」が肯定、「どちらとも」が同数で43%、否定も2名と問題を残す。</li> <li>6. 「中高との連携」では「良い」はゼロ、肯定も12%と低位、中間が56%と多いが否定も30%あり。</li> <li>7. 「幼稚園との連携」では中高以上に否定がはっきりして55%。幼稚園トラブルも影響か？</li> <li>8. 「父母の会、保護者との連携」は肯定56%、否定はゼロと想定通りの結果。</li> </ol> <p>&lt;個別の意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別意見は少なかったが、中学への内部進学について、数字はともかく連携や考え方相違への不満あり。</li> <li>2. 校務分掌が過多、業務の簡素化や人材投入への期待等切実な意見あり。</li> </ol>
分析
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保護者アンケートの集計結果では総じて2年前より学校の方針、努力が理解されてきていると思われるが、新しい教育や学力向上にはまだまだ改善の努力が必要と思われる。</li> <li>2. 特に気になるのは、12年一貫教育を目指そうと言う時に、中学校との連携が連続して低評価なこと。今後、併設幼稚園から小学校、小学校から中学校へのスムーズな内部進学ルール作りと実践が課題。</li> <li>3. 個別の意見は、それぞれ拝聴すべき意見も多いが、教育改革導入直後でもあり「批判」は避けられない。英語教育の向上、学力向上、成績表のあり方等改革以前の教育課題への真摯な努力も必要である。</li> <li>4. ごく一部であるが、批判のための批判と思われる意見もあるが「アンケート調査」では避けられない。</li> <li>5. 教員のアンケートでは回答者も16名と少なかったこともあるが、教員間の連携、幼稚園・中学との関係等微妙な人間関係も反映されていることは否定できない。</li> <li>6. 英語教育についても特に教育改革での英語のあり方等微妙な意見相違も反映されていると思われる。</li> </ol>

第三者評価委員会からの意見

[平成 30 年 6 月 19 日 開催]

- ・改革途上にあり、様々な保護者の意見を拝聴しながら保護者、先生、職員の皆様が改革を楽しむように受け入れれば、生徒にもいい影響を及ぼすのではと思います。
- ・共同、協働を体で知る教育を進めていただきたい。本を読みその習慣をつけ、体力をつけて健康な小学生を育ててください。
- ・基礎学力、カリキュラムの充実、マナー、コミュニケーション力等、人間としての基本の力をつけることを大切にしている点は評価できる。それが入学者にもっと結びついても良いと思う。中学進学の際、優秀な生徒が転校してしまうのは残念である。小中高の一貫性を強調し改革、運営にとりこんでいただきたい。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

最重点課題	今年度の重点目標 (Plan)	具体的な取組計画・ 内容 (Do)	評価指標 (Check)	自己評価 (Action)
<p>1. 教育内容の充実</p> <p>〈教育改革・男女共学・校名変更の浸透〉</p>	<p>(1) 教育内容の充実</p>	<p>①イメージョン教育の体制作り</p> <p>②アクティブラーニング(AL)の向上深化</p> <p>③ICT 授業の全学年取り組み強化</p>	<p>①下記二点の取り組みを実施し、イメージョン教育の体制作りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ教員と日本語教員のティームティーチングを展開。</li> <li>・定期的な併設中高との情報交換の実施。</li> </ul> <p>&lt;評価方法&gt; 両取り組み実施 → ○ 一方のみ実施 → △ 未実施 → ×</p> <p>②AL 委員会を立ち上げ、年間計画を基に各教科で AL を取り入れた授業を展開する。また、各学期に1回専門の講師による研修会を行う。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 研修会の各学期1回実施、及び、年間計画達成度80%以上 → ○ 研修会の各学期1回未実施、及び、年間計画達成度50%以上 → △ 研修会未実施、及び、年間計画達成度50%以下 → ×</p> <p>③情報科教員が、タブレット(iPad)を使用した情報教育を実施、(メディア教育とプログラミング教育を行う)</p> <p>低学年→機器に親しみ慣れる 中学年→情報の収集・加工 高学年→保護者の前でのプレゼンテーション実施</p> <p>加えて、プログラミング教育においてはコンピュータを使用しないアンプラグド、ロボットを使用したロボットプログラミングまでを段階的に実施し、プログラミング的思考の育成に努める。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 学年別目標を児童の80%以上達成 → ○ 学年別目標を児童の50%以上達成 → △ 学年別目標を児童の50%以下達成 → ×</p>	<p>①結果 ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージョン率等で多少の試行錯誤はあったが、概ね実施できた。</li> <li>・中高との定期的な連携(コーディネータの指導等)に若干の課題を残す。</li> <li>・英語教育のあり方に関しては保護者アンケート中の意見欄にも種々の指摘や希望をもらっており、真摯に対応して参りたい。</li> </ul> <p>②結果 △</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動や研修会は○なるも授業展開には教員によるバラツキあり課題を残す。</li> </ul> <p>③結果 ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年・中学年・高学年ともおおむね目標を達成しているといえる。改善点としては、スキルの個人差が大きいのでスキルの低い児童への対応が課題となっている。</li> <li>・プログラミング教育においては、各教科での実施が今後の課題となっている。</li> <li>・また次年度は情報科としての到達目標を数値化し具体的な評価指標としていきたい。</li> <li>・ICT 教育の環境整備(予算措置)に大きな課題を残す(学院全体の課題)</li> </ul>

<p>2. 改革と伝統のバランスと伝統を守りつつ改革を成功させる</p>	<p>(2) 改革と伝統のバランス</p>	<p>①カトリック教育の伝統視</p> <p>②アサンプションの教育強化</p> <p>③マナーの向上</p>	<p>①教員の宗教研修会を各学期に1回以上実施する。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 各学期1回以上 → ○ 各学期1回 → △ 未実施 → ×</p> <p>②一人ひとりを大切に児童と教員の関りが密であることがアサンプションの教育である。そのことを意識した研究授業を各教員が年1回実施し、お互いの授業について研鑽をする。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 教員9割以上実施 → ○ 教員5割以上実施 → △ 全教員未実施 → ×</p> <p>③掲示板にマナー心得を掲示し、日常生活の中で自然に意識をかめる取り組みを行う。また、動的取り組みとしては、朝礼時に児童と教員とで心得を唱和することによりマナー意識の共有をする。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 掲示実施、及び、毎朝礼唱和 → ○ 掲示実施、又は、毎朝礼唱和 → △ どちらも未実施 → ×</p>	<p>①結果 × ・金曜礼拝の当番者と校長との反省会？は必要に応じて実施したが、定期的、恒常的な「研修会」には発展させられなかった。</p> <p>②結果 ○ ・カトリック教育、アサンプションの伝統教育には保護者のアンケートにて多数の思いを受けており、引き続き改革とのバランスに注力して参りたい。</p> <p>③結果 ○ ・左記の日常活動はほぼ計画通り実施できたが… ・思いとして狙った「小学校でのあいさつ運動」を「学院全体の啓蒙活動」に発展させることはできなかった。</p>
<p>3. 2018年度入学試験の継続的活性化</p>	<p>(3) 2018年度児童募集の成功</p>	<p>①広報活動に全教職員が当事者として関わる。</p> <p>②入学試験の実施方法見直し。</p> <p>③入学試験スケジュールの円滑化</p>	<p>①外部幼稚園、幼児教室への訪問活動を強化し学校説明会、入試説明会を全教員一丸となって充実させる。。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 訪問強化、内容充実 → ○ 頻度、内容に課題あり → △ 十分ではなかった → ×</p> <p>②併設幼稚園の園長推薦入学制度を導入する。試験内容も見直す。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 制度の成功、見直し実施 → ○ 未実施 → ×</p> <p>③最優先の行事として全教職員が募集スケジュールの円滑化に協力する。</p> <p>&lt;評価方法&gt; 十分 → ○ 課題を残す → △</p>	<p>①結果 ○ ・訪問件数は多かったが、活動内容の「報告・連絡・相談」に課題を残した。 ・チャレンジ目標は未達成なるも目標の70は達成できた(最終的な入学者数は67名)</p> <p>②結果 × ・園長推薦を暫定的に導入したが反響は小さく内部進学者はむしろ大幅減(中途半端な制度であった)。 ・試験内容は見直し不十分。判定会議の運営は管理職主導で実施できた。</p> <p>③結果 △ ・管理職と教員との意識相違もあり「募集最優先」とは言えなかった(広報担当者を更迭) ・カトリック校として「落とす入試」から転換する必要性大!</p>

<p>4. 内部進学率の大幅向上        ↳ 目標 60% 以上 ↳</p>	<p>(4) 内部進学率の大幅向上</p>	<p>① 中学校教員との連携強化</p> <p>② 内部進学準備（意識づけ）の学年を広げる</p> <p>③ 併設中高との交流活動行事活性化</p>	<p>① 6 年担任と中学教員とで内部進学児童の一人ひとりの情報交換を入学式までに行う。</p> <p>&lt;評価方法&gt;        実施 → ○        未実施 → ×</p> <p>② 4～5 年生から併設中学進学に興味、関心を持たせる内容を企画し、クラスや保護者説明会を通して発信する。</p> <p>&lt;評価方法&gt;        積極的に実施 → ○        実施せず → ×</p> <p>③ 中高教員による小学校授業やクラブ活動（児童）、運動会（児童・生徒）等への参加率向上</p> <p>&lt;評価方法&gt;        向上 → ○        不変 → ×。</p>	<p>① 結果 ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最低限の情報交換はできているが、基本的に連携は取れていない。</li> <li>内部進学ルールを見直し、定着させることが課題（次年度に向けて見直し済み）。</li> <li>本件は、保護者アンケート、教員アンケート共に問題提起されており、次年度に向けて見直しルールにより改善して参りたい。</li> </ul> <p>② 結果 ×</p> <p>③ 結果 ×</p>
<p>5. 各園校・教職員間の連携強化        ↳ 情報共有化と職場改善 ↳</p>	<p>(5) 教職員の連携強化</p>	<p>① 情報共有化と相互理解</p> <p>② 職場環境改善と労働条件向上</p>	<p>① 毎月の所属長会議（年 12 回）にて次月分の行事について情報共有し、また各校園にも率先して呼びかけることでお互い突然の行事調整がないよう相互理解の徹底を図る。</p> <p>&lt;評価方法&gt;        12 回実施 → ○        6 回以上実施 → △        1 回以上実施 → ×</p> <p>② 質量ともに職場環境改善、労働条件改善に取り組む活動を通して学院全体の教職員が連携を深める。</p> <p>&lt;評価方法&gt;        理想通り実行 → ○        思いはあったが壁高し → △        全くできず → ×</p>	<p>① 結果 ×</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単に所属長会議での対応だけでなく、基本的な連携意識が欠如。</li> <li>仕組みの問題もあるが、人的要因も無視できず、今後各園校が意識改善して連携が膨らむことを期待。</li> </ul> <p>② 結果 △</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職場環境改善は予算の問題がネックとなりほとんど実現せず。</li> <li>労働条件向上については、色々課題は残すも、時間外管理については「サービス残業ゼロ」を実現したが「残業削減」にはつながっていないので今後の改善が大きな課題。</li> </ul>
<p>6. 施設・設備上の課題</p>	<p>(6) 施設・設備改善</p>	<p>① 実施事項</p> <p>② 検討事項</p>	<p>① 男子トイレ（2F）新設、図書館の充実</p> <p>② 動場の土壌改善、給食制度あり方？</p> <p>&lt;評価方法&gt;        実現 → ○        進行中 → △        中止 → ×</p>	<p>① 結果 トイレ○、図書室×</p> <p>② 運動場 △        給食 ×（ただし弁当改善）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備上の課題は小学校だけの問題ではないことも多く、学院全体感の中で検討、対応すべきと思われる。</li> </ul>